

機器接続マニュアル



機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

GPと接続可能な(株)チノー製の機器一覧を示します。

調節計

シリーズ名	調節計	画面作成ソフトでの機器タイプ
LT230 *1	LT23□□□200-□□□	チノー調節計(MODBUS)
	LT23□□□300-□□□	
LT300 *2	LT3□□□□R□0-□□□	
	LT3□□□□A□0-□□□	
	LT3□□□□S□0-□□□	
LT400 *3	LT4□□□□R□□-□□□	
	LT4□□□□A□□-□□□	
	LT4□□□□S□□-□□□	
JU *4	JU□□□□□□□513	
	JU□□□□□□□613	

*1 調節計LT230シリーズは通信の仕様によって型式が異なります。型式に「2」(RS-485)、「3」(RS-485+外部入力2点)が付きます。詳細は調節計のカタログを参照してください。

*2 調節計LT300シリーズは通信の仕様によって型式が異なります。型式に「R」(RS-232C)、「A」(RS-422A)、「S」(RS-485)が付きます。詳細は調節計のカタログを参照してください。

*3 調節計LT400シリーズは通信の仕様によって型式が異なります。型式に「R」(RS-232C)、「A」(RS-422A)、「S」(RS-485)が付きます。詳細は調節計のカタログを参照してください。また、GP/GLC/LTと通信させるためには、LT400シリーズは製造番号LT4037****以降のものを使用してください。製造番号LT4036****以前のものを使用した場合、GP/GLC/LT上に「PLCからの応答がありません。(02:FE:**)」が表示されます。

*4 サイリスタJUシリーズは通信の仕様によって型式が異なります。型式に「5」(調節計機能付き<ユニット間マスター>)、「6」(調節計機能無し<ユニット間スレーブ>)が付きます。詳細は調節計のカタログを参照してください。

調節計機能無しサイリスタ(JU 613)は、GPと直接接続できません。GP/GLC/LTと通信させるためには、調節計機能付きサイリスタ(JU 513)を接続し、マスターとスレーブをユニット間通信させることにより通信させることができます。ユニット間通信の方法については、調節計の取扱説明書を参照してください。